

受付番号

2022-20

許可番号

大歯医倫 第 111229-0 号

研究課題名

中国の高齢者におけるお茶の種類と口腔残存歯数の関係：CLHLS 調査の横断研究

研究責任者

河村 佳穂里

申請者

黄 哲麒

研究終了日

2024 年 3 月 31 日

所属

口腔衛生学講座

所属

歯学研究科（口腔衛生学専攻）

職名

講師

職名

大学院 3 年生

申請の概要

お茶は世界で最も広く消費されている飲み物の一つで、中国でも多くの人々に消費されている。中国にはお茶の種類が多くあり、発酵の程度とお茶の成分によって緑茶、発酵茶、花茶の 3 種類に分けられる。歯の喪失は食生活や社会生活等に支障をきたし、全身の健康に影響を与えるものとされている。緑茶、発酵茶、花茶はすべて歯科疾患を予防する効果があると考えられるが、これまで高齢者の残存歯数に対するこれら 3 つのお茶の効果を検証する疫学研究は散見しない。本研究は中国健康長寿追跡調査（Chinese Longitudinal Healthy longevity Survey : CLHLS)のデータを利用して、中国高齢者におけるお茶の種類と口腔残存歯数の関係について明らかにすることを目的とする。